



AXELMARK

決算説明資料

2020年9月期第3四半期

2020年8月13日 アクセルマーク株式会社 (東証マザーズ 3624)

1. 2020年9月期 3Qサマリー
2. 2020年9月期 3Q業績概要
3. 2020年9月期の取り組み
4. 事業の状況 & 展望

1. 2020年9月期 3Qサマリー

2. 2020年9月期 3Q業績概要

3. 2020年9月期の取り組み

4. 事業の状況 & 展望

売上高

706 百万円

(前四半期：698百万円)

営業利益

▲151 百万円

(前四半期：▲195百万円)

● 事業構造の転換

- ゲーム事業

株式会社オルトプラスとゲーム事業の譲渡に向けた基本合意書の締結
(譲渡予定日：2020年9月1日)

- and Experience事業

「くじコレ」のサービス移管完了 (移管日：2020年5月1日)

● コロナ渦における対応

- 広告事業

巣ごもり消費によるデジタルコンテンツの消費が促進されたこともあり
「ADroute」は過去最高の四半期売上高を更新

中小事業者向けeコマース販売促進サービス「EC MARK」を開始

1. 2020年9月期 3Qサマリー

2. 2020年9月期 3Q業績概要

3. 2020年9月期の取り組み

4. 事業の状況 & 展望

損益計算書四半期推移



ゲーム事業の運営体制を縮小させたものの広告事業の伸長によりQonQで増収
全社的な固定費の見直しを図り特別損失12百万円を計上

単位：百万円

	前期		当期		当期	QonQ
	4Q	1Q	2Q	3Q	差異	
売上高	715	736	698	706	+8	
売上原価	740	755	760	723	▲37	
売上総利益	▲25	▲19	▲62	▲16	+46	
販売管理費	202	230	132	134	+2	
(うち広告宣伝費)	(37)	(44)	(6)	(0)	▲6	
営業利益	▲227	▲249	▲195	▲151	+44	
営業外収益	0	0	12	21	+9	
営業外費用	7	4	4	2	▲2	
経常利益	▲234	▲252	▲187	▲132	+55	
特別利益	-	-	-	-	-	
特別損失	-	194	-	12	+12	
税金等調整前当期純利益	▲234	▲447	▲187	▲144	+43	
法人税等	0	0	0	0	+0	
親会社株主に帰属する当期純利益	▲235	▲448	▲188	▲145	+43	

財務体質強化のために、事業の収益化を進めつつ、
既発行の新株予約権付社債の転換及び新株予約権の行使を促進する

単位：百万円

	前期 4Q末	当期 3Q末
流動資産	1,573	870
現金及び預金	1,174	552
売掛金	350	266
その他	47	51
固定資産	358	114
有形固定資産	39	22
無形固定資産	158	3
投資その他の資産	160	89
資産合計	1,932	985

	前期 4Q末	当期 3Q末
流動負債	725	536
買掛金	230	201
借入金	300	225
その他	194	110
固定負債	925	575
長期借入金	150	-
転換社債型新株予約権付社債	775	575
負債合計	1,650	1,112
資本金等	2,995	3,369
利益剰余金	▲2,712	▲3,494
新株予約権	5	4
その他	▲7	▲7
純資産等合計	281	▲127
負債・純資産等合計	1,932	985

1. 2020年9月期 3Qサマリー

2. 2020年9月期 3Q業績概要

3. 2020年9月期の取り組み

4. 事業の状況 & 展望

● 不採算事業からの撤退 (ゲーム事業の譲渡)

<参考> 直近のゲーム事業のセグメント推移

	2019年9月期	2020年9月期3Q
売上	734,553	388,860
セグメント利益	▲506,633	▲475,782

● ブロックチェーンゲームに関する協業

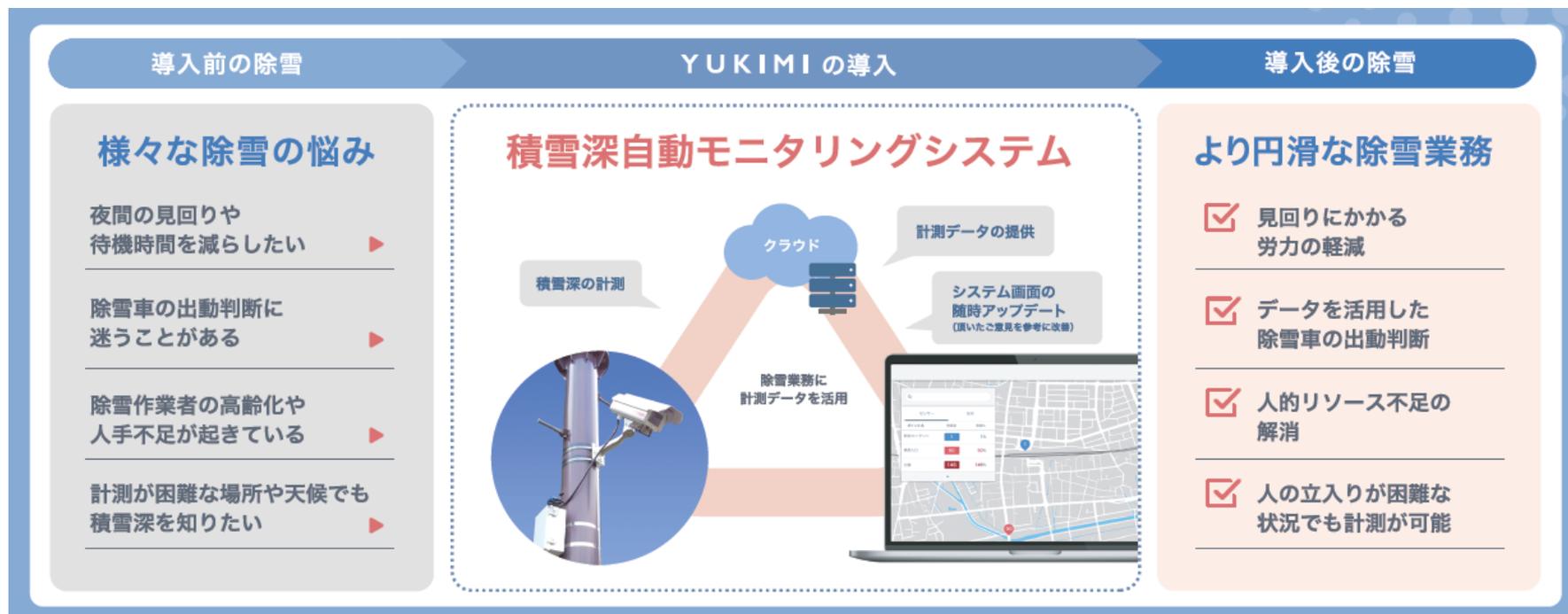
コントラクトサーヴァントの運営人員を移管し、
当社はパブリッシングを担当。
投資は限定的にしつつ普及拡大に努める。

● 全社費用の削減

- ・ オフィス費用の削減
ゲーム事業の譲渡による人員減少、在宅勤務の活用によりオフィス縮小を予定。
来期以降のオフィス関連費用は、年間60百万円削減見込み。
- ・ 業務運営体制の最適化と更なる固定費の削減

1. 2020年9月期 3Qサマリー
2. 2020年9月期 3Q業績概要
3. 2020年9月期の取り組み
4. 事業の状況 & 展望

大規模実証実験を経て、自治体向け商用サービスを今冬開始



自治体向け
to G

済
30自治体で
実証実験

済
商用化に向け
事例収集
データ蓄積

豪雪地帯
全532自治体
にアプローチ

100自治体
超から資料
請求

IoT : 積雪深センサー「YUKIMI」 (to G)



2019.4Q 2020.1Q 2020.2Q 2020.3Q 2020.4Q 2021.1Q~

済 EP1 実証実験参加自治体募集
30枠を上限に募集
各自治体が抱える課題の情報収集も同時実施

済 EP2 実証実験実施
様々な環境や雪質でのセンシング
事例、データを蓄積

済 EP3 商品化に向けた改善
実験中に判明した課題等を解決する手段を確立
自治体ニーズを元に有償実証実験プランも企画

STEP4 商用サービス営業活動
豪雪地帯の全自治体にアプローチ済み、
100自治体から資料請求有り

STEP5 商用サービス開始
正式にサービスを開始予定
同時に有償での実証実験プランも提供

STEP6 サービス拡充
事例とデータを元にさらなるサービス改善と
機能拡充を図る

商用化決定

JR東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社の管轄路線の一部にて、
積雪深自動モニタリングのトライアルを、今冬12月より実施予定

積雪深自動モニタリングシステム

YUKIMI

積雪深を
24時間遠隔監視
見回りの軽減へ



企業向け
to B

線路上の積雪深計測の実証実験を今冬実施予定。
管轄路線の積雪状況をリアルタイムに把握し、
さらなる安定運行確保への有効性を検証する。

IoT営業で培ったノウハウとアカウントを活用し、withコロナ商品の取り扱いを開始。ヘルスケア分野のデジタル化(DX)を支援

● 取り扱い商品の例

サーマル カメラ

- ✓ ウォークスルー（非接触）で体表面温度を計測
- ✓ 最大20名まで同時計測可能
- ✓ マスク着用でも計測可能
- ✓ 設定した数値を上回る場合、アラートでお知らせ

学校法人に
納入実績あり

消毒作業 ロボット

- ✓ 簡単に操作可能な消毒作業ロボット
- ✓ 消毒作業時の感染リスクを軽減
- ✓ カスタマイズも可能

※DX=デジタルトランスフォーメーション：「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念

IoT関連の足回りを実行できる事業会社

大手企業やベンチャー企業の提供する製品単体では解決できない社会的課題や顧客のニーズに対し、アクセルマークでは、それらをクラウドサービスやソリューションの形で提供することが可能



アクセルマークがIoT製品・サービス開発者とクライアントをつなぐ、**ラストワンマイル**の存在を目指す

事業環境

- IoT市場は現在急成長している業界
- システムを作る側は増えていても売る側が不足している状況

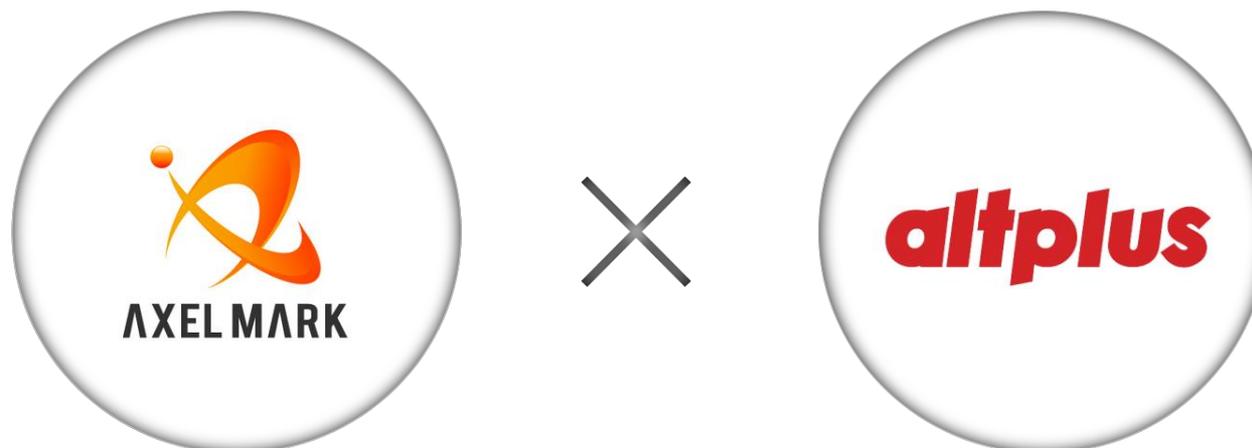
課題

- IoTサービス・システムが顧客に届いておらず、反対に社会的課題や顧客ニーズが開発者まで届いていない状況
- IoTを通して蓄積されたデータが有効に活用されていない

- 何が必要かを把握し、パートナーと共に開発(ニーズの把握、開発投資)
- 普及させるための活動(営業、ビジネスモデルの構築)
- 社会や生活のアップデートに貢献(データの蓄積と新ビジネスの創造)

2019年2月にIoT関連の事業へ参入

オルトプラスとブロックチェーンゲーム関連領域における
戦略的提携に合意（2020年7月31日）



業界トッププレイヤーとしてのポジションを強固にすべく、
協業及び共同検討をすすめる。
2社共同で、ブロックチェーンゲーム事業を推進することで、
新しいゲームスタイルとエコシステムの構築を目指す。

広告事業：EC MARKとは

 STRONG POINT



広告運用

検索広告、
ディスプレイ広告
SNS広告、DSP



SEO

外部対策、内部対策
アプリストア最適化

 STRONG POINT



制作

ランディングページ
記事コンテンツ・動画

EC MARK



SNS

SNS運用
インフルエンサー
マーケティング



システム

ECカート
アクセス解析ツール

NEW !!



越境EC

中国向け越境ECサービス

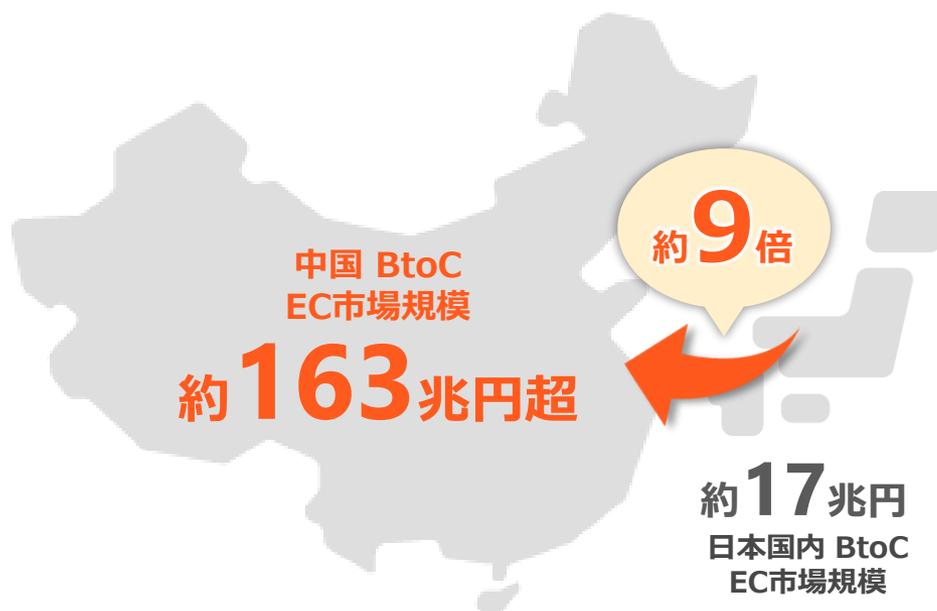
TRADING DESK のノウハウを活かした

中小事業者向けeコマース 販売促進サービスです

課題に合わせ、スポットからトータルでの活動をワンストップでご提案

中国向けネットマーケティングに強みをもつクロスシーと提携
SNSを活用した中国向け越境ECサービスの取り扱いを開始。

- **中国のEC市場規模は**
日本のEC市場規模の**約9倍**



- **越境EC進出の際の障害となりうる**
課題の解決手段を提供

翻訳 日→中	集客	受発注 業務
物流 手続き	物流経費 決済手数料 代理支払い	通関 手続き
クロスシーWeChat ミニプログラムEC		

成長事業

IoT関連サービス

- ・積雪深センサー「YUKIMI」の商用サービスを今冬開始
- ・投資期を経て、今後は営業に注力し、売上拡大に努める
- ・商品ラインナップの拡充により収益構造を好転させる

成長事業

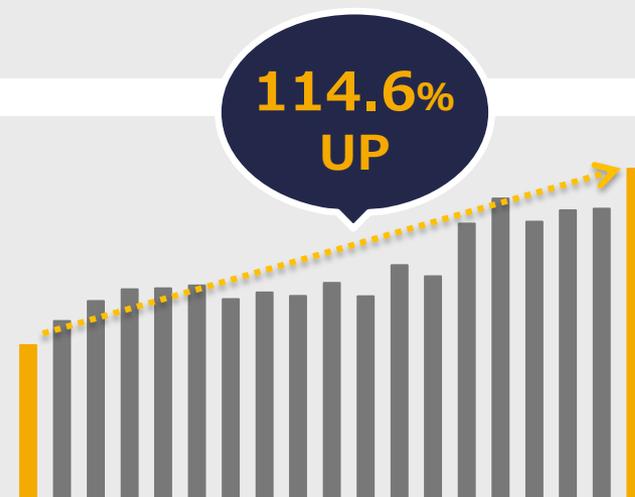
BCゲーム関連事業

- ・投資過多の状態から協業での運営体制へ変更、投資を限定的にする
- ・パブリッシング本数を増やし売上拡大を想定

収益事業

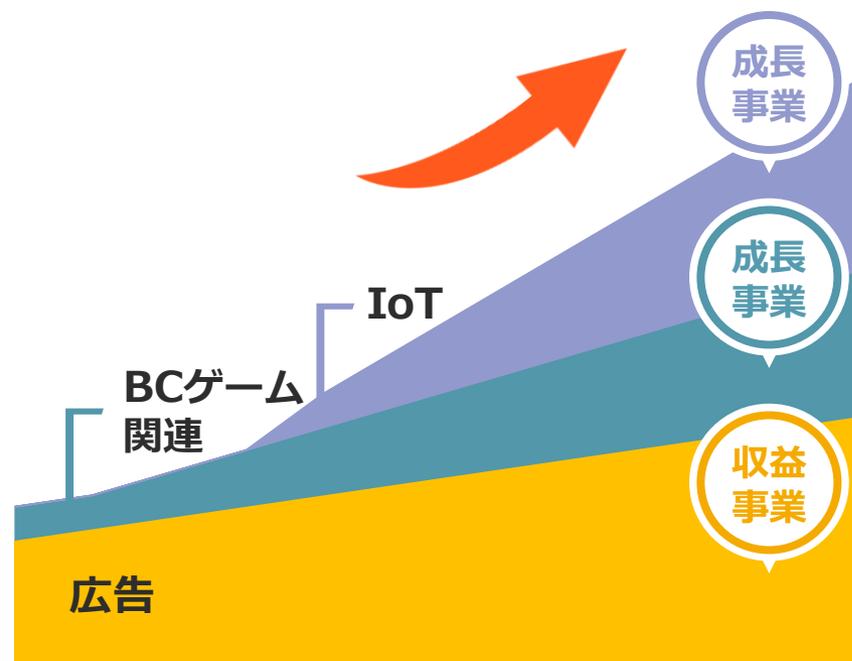
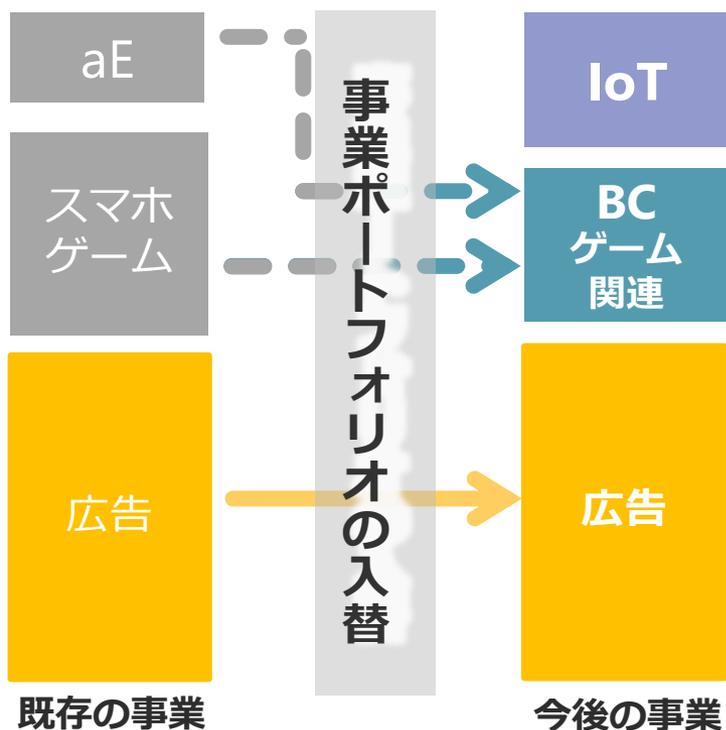
広告事業

収益事業として継続して成長、当期3Qは過去最高の売上高を更新。今後も収益事業として拡大を見込む



広告事業の売上高四半期推移（第24期1Q～当期3Q）

不採算事業から撤退、広告事業を収益事業として、
BCゲーム関連事業、IoT関連サービスを成長させることで、
来期以降の大幅な収益改善を見込む



「楽しい」で世界をつなぐ



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>